



「フードドライブ」支援の輪広がれ 仙台のNPO、4社と連携し回収箱常設

2022年4月13日 15:30



回収箱を抱えるアスイクの大橋代表理事（左から2人目）と協力企業の社長ら

貧困家庭や不登校の子どもの支援する仙台市のNPO法人アスイクは本年度、県内企業4社と連携し、家庭で余った食品を集めるフードドライブ事業「アスイクBOX」を始めた。協力企業の店頭などで寄付を受け付け、ひとり親家庭をはじめアスイクの支援を受ける困窮世帯に届ける。

いずれも若林区に本社のある高橋写真製版、鐘崎、こだまの3社と万代（太白区）が協力。回収箱を市内の店舗や事務所計7カ所に常設する。賞味期限が1カ月より長く、常温保存できる食品を募る。

回収作業はアスイクが運営するフリースクールの利用者が担い、社会に触れる機会としても生かす。

若林区の鐘崎笹かま館であった式典で、アスイクの大橋雄介代表理事は「新型コロナウイルス下で経済的に苦しむ世帯が多い。地元企業と手を携え、応援してもらえる試みは心強い」と話した。

協力企業は、市東部の工業団地での地域活動が縁で結束した。鐘崎の嘉藤明美社長は「回収箱を置く店を増やし、支援の輪を広げていきたい。アスイクの取り組みも多くの人に知ってほしい」と述べた。

連絡先はアスイク022（781）5576。

関連リンク

- ファミリーマートがフードドライブ事業 宮城の16店舗で開始
- 富谷市がフードドライブ事業展開 市内3カ所に食品回収ボックス
- 未開封の余った食品集めます フードバンクと石巻信金がタッグ
- 食品買ってその場で寄付可能 みやぎ生協、困窮者支援で取り組み
- 余剰食品を困窮世帯へ 東松島市協「フードドライブ」開始

関連タグ

[社会](#) [宮城](#)

ランキング

- 
1 仙台の桜満開、花見客で西公園大混雑 出店ずら...
(2022年4月13日)
- 
2 勝山企業代表に28歳伊沢優花氏 祖父・平一氏...
(2022年4月13日)
- 
3 ありがとう羽田—仙台便、助かりました臨時快速...
(2022年4月13日)
- AD** 
あなたは部下のことを「さん付け」で呼んでいます...
(ビスヒント)
- 
4 プライド高く怠け者？ 都会的でおおらか？ 仙...
(2022年4月13日)
- 
5 「一目千本桜」が満開 宮城を代表する名所、8...
(2022年4月12日)
- AD** 
温泉、寝心地、美味しい朝食... 顧客満足度1位...
(ビスヒント)

powered by

企画特集

- 
NEXTとうほくアクション
東北の未来に向けて、みんなで手を取り合い、様々な活動に取り組んでいます。
- 
社会人が学び合う「みやぎ SDGs Farm」
SDGsマインドの向上をはかるための「みやぎSDGsアンバサダー」育成プログラム活動を紹介中！
- 
今できることプロジェクト
2021年度企画実施中！詳しくはWEBサイトへ